

～人権週間を迎えるにあたって（朝礼講話より）～

12月4日から10日までは人権週間です。それに合わせて、大田区では1日から8日まで、池上会館で「人権啓発作品展」が開催されています。蓮沼中からも、代表生徒による「標語」「ポスター」「習字」が展示されていました。

この「人権」という言葉、耳にしたことありますね。意味も理解している人がほとんどだと思います。「すべての人間が、人間の尊厳に基づいてもっている固有の権利」です。簡単に言えば「人が人らしく生きていくために認められている、誰もが生まれながらにもっていて、誰からも侵されることのない権利」です。今日は、この「尊厳」について少し掘り下げて考えてみたいと思います。

皆さんに質問です。「みなさんは、自分がほかの人から尊重されていると思いますか。」すぐに「はい。」と答えられた人は、どのくらいいるでしょうか。

私は、いじめ問題など人権に関わることを考えるときに、いつも思うことがあります。それは、人は「自分が尊重されていない」と感じているのに、ほかの誰かを尊重し続けることは極めて難しいのではないかということです。そこを無理に続けてしまうと、いずれ心身に不調が出たり、「なぜ自分ばかり我慢しなければならないんだ。」と、誰かにストレスをぶつけてしまうことがあるのではないかと思うのです。

なので、本当の意味で相手を尊重し続けたいのであれば、まず自分で自分を尊重することが必要だと思うのです。しかし、それは決して簡単なことではありません。どうすれば「自分を尊重できるのか。」明確な答えはわかりません。さまざまな学びや経験の中で身につけていくしかありません。

一方で、「相手を尊重する。」ことは、それほど難しいことではないと思います。なぜならそうした行動は、一般的に「良いこと」と評価されるからです。なので、私たちはつい自分のことを後回しにしてしまうのではないかと思うのです。でも、始めにも言いましたが、自分の尊厳を棚上げしておいて、誰かの尊厳を考えることはできないのではないのでしょうか。みなさんはどう思いますか。

私は、この4月から、皆さんの立派な姿や頼もしい行動をたくさん見てきました。そしてそのたびに、「自分で自分を褒めてください。認めてください。」と言ってきました。「皆さん一人一人が、かけがえのない大切な存在です。」と言ってきました。その理由がここにあります。

皆さんには、ぜひ「自分のことをしっかりと尊重できて、そのうえで、相手を心から尊重できる」心が強くて優しい人になってほしいと、心から願っています。人権週間のこの時期に、一度考えてみてください。

蓮沼中学校は、これからもすべての教育活動を通じて、人権尊重教育を推進してまいります。

令和5年もあと半月ほどとなりました。保護者・地域の皆様には、大変お世話になりました。蓮沼中学校の教育活動にご理解とご協力をいただいたこと、心より感謝申し上げます。令和6年も職員力を結集し、子供たちの成長を全力で支えていく所存です。変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。よいお年をお迎えください。